

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2023.03.02)

文・写真：武田 写真：山 國

日時：2023(令和 5)年 3 月 2 日(木) 9:30～14:30

気象：晴

活動エリア：45 林班ろ-03、05

活動内容：地域環境保全(倒木・枯損木処理、過密広葉樹除伐)、林床整備、モニタリング現況調査
(除伐本数確認)

参加者(会員) 猪川 誠、石田美和、斧田一陽、栗原昌揮、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、竹歳三喜子、寺田昭弘
当山清之、春名浩一、中川義行 会員 12 名

<寒の大戻り>

昨日の最高気温は大阪で 18℃、今日の山は 12 時で 1℃。加えて時々強風+雪あられ⇒昼食も早々に切り上げ、作業で身体を動かし暖を取る。強い風は伸びきった杉を大きく揺さぶる、これは壮観。凍結を嫌って低温時の活動は避けている我々としては、滅多にない経験の一日。作業の方は斧田さんと 3 ヶ月ぶりの倉谷さんはモニタリング調査区の伐木本数の確認へ、新加入の栗原さんを含め、残る 10 名は道具を担いで「45 林班ろ-03」に向かう。

<水信仰の聖地 本山寺「辨財宇賀神王第一霊場」>

些か旧聞だが、昨年 4 月「世界水フォーラム 熊本」で今上陛下は「人の心と水—信仰の中の水に触れる」と題する基調講演にご登壇、本山寺の宇賀神王像を紹介された。「人面蛇身の宇賀神は水への信仰を表象」「辨財天信仰とも習合し、水と福德・豊穰の神としての姿は竹生島の辨在天像の頭部にも見られる」と続けておられる。(アジア・太平洋水サミットにおける天皇陛下記念講演 より)

写真は左から本山寺の「お札」と「宇賀神王(江戸時代の作)」、右端が頭に宇賀神を乗せた竹生島の辨財天



<今日の成果>

尾根から溪に降りる足元は急で、足元の確保に注意しながら、50m×80m=0.4ha で倒木・枯損木処理、過密広葉樹を除去。一帯は植林地の上方、長く手が入っていないので随所に腐りかけた倒木。10m を越える松の枯損木も目立つ。チェーンソーも活躍するが、上方での作業は笛で下方、周辺に注意喚起するよう、改めて申し合わせ。

<写真>

【作業開始】



【作業後】



【切り倒した枯損木との格闘】



【運ぶには適当に伐って】



【さらに下は植林地(結構 斜度あり)】



【雪解けが進む郡上(井上会員)】

